



一般質問通告書

一括方式一問一答方式質問
順番

5

東海村議会議長 吉田 充宏 様

議席番号 13 番 議員氏名 岡崎 悟

質問事項 (件名)	感震ブレーカーの設置・普及支援について	答弁者
要旨（具体的に）		
<p>平成27年12月議会と令和6年12月議会で、感震ブレーカーの設置支援について質問をした。</p> <p>国は令和6年6月に防災基本計画を改定し、地震発生時の火災予防対策として、住宅が強く揺れた際に自動的に電気を遮断する感震ブレーカーの普及を進める方針を明記し、茨城県も同様に令和7年3月に茨城県地域防災計画を改定し、感震ブレーカーの普及を推進する方針を盛り込んだ。</p> <p>こうした状況を踏まえ、茨城県は感震ブレーカーの設置促進を図るための予算措置を行い、感震ブレーカー設置補助する市町村に対し、市町村負担額の3分の2の補助率で、3万5千円を上限に補助する制度を設けた。補助を活用するためにも、東海村として新たに補助制度を作る必要があると考えるが、本村の見解を伺う。</p>		

質問事項 (件名)	糖尿病予防対策の現状について	答弁者
要旨（具体的に）		
<p>本村の実施する特定健診を受けた方の中で、何人の方が糖尿病で治療を受けているのか。また、糖尿病予備軍に当たるヘモグロビンA1cが6.0%から6.5%未満の方は何人おられるのか。本村が取り組んでいる糖尿病予防対策の現状を伺う。</p> <p>また、国立健康危機管理研究機構のホームページに掲載されている糖尿病リスク予測ツールを使っての予防対策を進めることができないか。この予測ツールは、30歳から64歳までの糖尿病と言われたことが無い方が対象で、個人の身体計測結果、血圧、血液検査の結果などを入力することで、これから3年以内に糖尿病を発症する確率を表示することができるものである。このツールを本村のホームページに取り入れることで有効な対策の1つになると考えるが見解を伺う。</p>		

乙 表

氏 名	岡崎 悟	No. 2
-----	------	-------

質問事項 (件名)	犯罪被害者支援見舞金制度について	答弁者
<p>要旨（具体的に）</p> <p>令和 6 年 6 月議会で犯罪被害者への支援が必要と考えて、犯罪被害者支援見舞金に対する村の考えを伺った。その時の部長答弁は、これまで本村では犯罪被害者から直接村への相談実績はなく、他市町村の取組状況を踏まえ、調査研究をしていきたいということであった。</p> <p>私は被害者が出ないうちに制度を整えることが必要であると考えて当時質問をしたが、最近の新聞報道によると今年の 4 月までに茨城県内 44 市町村のうち 32 市町村が、犯罪に巻き込まれた被害者やその家族を支援する「犯罪被害者支援条例」を制定してるとのことである。</p> <p>私が質問した令和 6 年時点では、見舞金支給の制度化を行っていたのは 6 自治体であったが、現在は 32 の市町村で制度化されているということである。県内の多くの市町村で制度化されている犯罪被害者支援見舞金制度について本村の考えを伺う。</p>		

質問事項 (件名)	1 学級 1 担任制とチーム担任制について	答弁者
<p>要旨（具体的に）</p> <p>現在の学校現場の大変さ、教員の皆様のご苦勞の現状は推察するところである。それらを踏まえ、本村の担任制とチーム担任制についての見解を伺う。</p> <p>新学期を迎えた児童・生徒の関心事の 1 つが、担任の先生が誰になるのかということだろうと思う。担任の先生は自分で選ぶことができず、大げさに言えば運任せである。人と人の相性はなかなか複雑であり、担任の先生が希望通りにならなかった場合に、少しでも和らげる一助になるのが「チーム担任制」ではないかと考える。</p> <p>以下 2 点伺う。</p> <p>① 1 学級 1 担任制におけるメリットとデメリット。</p> <p>② チーム担任制についての見解。</p>		